

福井県と（公社）福井県観光連盟は、5月31日にホテル阪神（大阪市福島区福島）において、観光商談会を開催した。

舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道の全線開通効果を維持・拡大し、関西圏からのさらなる誘客を促進しようと、県内からホテルや旅館をはじめとした観光施設、市町観光担当者など47社・団体71名が参加し、関西の旅行会社やメディア30社45名に対し、それぞれの施設の魅力をPRした。

県からのプレゼンテーションでは、季節ごとの福井のいち押し観光素材を紹介するとともに、県内周遊モデルコースや、他県との広域観光プランも提案した。

商談後には交流会を開催し、ブランド化を進めている若狭牛のローストビーフや焼き鯖寿司、ごま豆腐、地酒等、魅力ある食をPRしたほか、三国の「帯のまち流し」を披露する等を行った。

今後も、旅行会社へのフォローアップを積極的に行い、本県への旅行商品造成を確実なものにするとともに、関西圏での情報発信により、誘客拡大を図っていく。

<参考>

○参加者の声

（1）県内関係者の声

- ・新しい施設の情報を売り込むことができて良かった。
- ・旅行商品に複数回組み入れてもらえる等、関西の旅行会社との良い関係づくりができています。
- ・関西の旅行会社の生の声を聞くことができて良かった。
- ・旅行会社から積極的に情報を聞いてもらえる等、手応えがあった。

（2）旅行会社等の声

- ・色々な情報を入手できたので下期旅行商品に使いたい。
- ・魅力的な素材がたくさんある。それらを繋ぐ二次交通を強化してほしい。
- ・ガイドブックにないような、より深く突っ込んだ情報を継続的にいただきたい。
- ・新たな施設のオープン情報等を仕入れることができて良かった。紙面に反映させたい。
- ・春夏の観光情報も貰える機会がほしい。

<<商談会の様子>>

